

第3回茨木市男女共同参画推進審議会 ご質問・ご意見等について

	項目	資料	ご意見	事務局からの回答
1	案件1	第3次茨木市男女共同参画計画策定に係る意識調査の報告について	困難を抱える女性はDVやひとり親はもちろんのこと、多様化している。高齢女性や障がい女性、外国人女性などの意見も吸い上げられるとさらに良くなるのではないかと。トランスジェンダーの女性や女子学生の生理の貧困問題なども多様に散見され、こういったことは小さな意見だけに個別のヒアリングなどぜひ今回の調査にいかしてほしい。	ご意見のとおり、複合的な困難を抱えている方の小さな声をどのように聞き取っていくかは課題と感じています。国や民間の調査等で参考になりそうなものを探して情報収集するなど、来年度の計画策定にあたっては、課題認識をもちながら作業を進めます。
2	案件1	第3次茨木市男女共同参画計画策定に係る意識調査の報告について	「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対の立場をとる人が前回調査よりも増えていますが、「反対」の立場のうちでも「どちらかといえば反対」というより迷わず明確に「反対」と回答している人が増えていて、それは男性でも同じ傾向のようです。この変化にもっと注目してもよいかもしれません。(22ページなど) また「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度が男性の方が高かったことにも少し驚きました。考察したい点だと思いました。(52ページ)	ご意見のとおりです。別役割分担意識についての回答で、明確に「反対」と回答している割合が最も多く、また男性の傾向も同じであることは注目すべきところだと思います。
3	案件1	第3次茨木市男女共同参画計画策定に係る意識調査の報告について	・個人的な興味で、ちょっと知りたいと感じたことがあります。「性別役割分担に賛成する理由」を尋ねる質問では、主な理由はだいたい五つくらいに絞られているようですが、たとえば24ページ上の表の30代女性の「その他の理由」(18・8%)とか、131ページの表の男子大学生の「その他の理由」(40%)は、どんなことなのでしょう。これは、自由回答などが書かれていない限り、わからないことだとは思いますが…。	各設問の「その他」等の自由記述についてとりまとめたものを、後日、委員のみなさまに送付いたします。
4	案件1	第3次茨木市男女共同参画計画策定に係る意識調査の報告について	・コロナ禍の影響で、多くの人の生活が変化した様子がうかがえました。中でも男性は「在宅勤務やテレワークが増えた」と答えている人が目立ちます。ただ、「不安が大きくなった」「収入が減った」などは明確にコロナ禍のマイナスの影響と言えますが、「在宅勤務やテレワークが増えた」については、マイナスともプラスとも、早急に価値づけるのは難しそうです。在宅勤務やテレワークが増えると、「仕事」よりも「個人生活」や「家庭」に関心が向くようになるのは必然的なことではないかと思われまます。でも、コロナ禍が収束したら、また以前のように「仕事中心」の生活がやってくるのか、それとも男女がともに仕事と、個人、家庭、地域生活がよい具合に混じり合う生活を目指すようになるのか。コロナ禍の影響で「育児や家事、介護の負担が増えた」と答えている女性が少なくないことも気がかりです。今回も、また今後の調査でも、注意深く検証していかなければならない点だと思えます。	ご意見のとおりです。

	項目	資料	ご意見	事務局からの回答
5	案件2	その他 性の多様性の啓発リーフレット について	「多様な性について考えてみよう」の冊子の配布方法と配布先と部数をお知らせください。高校、大学生たちへのセクシュアルマイノリティの茨木市の取り組みや情報提供がどのような方法でされているのか知りたいです。	配付方法、配布先、部数は別紙のとおりです。 このリーフレットは、広くさまざまな年代の市民の方に周知するため、公共施設のほか、すべての自治会に送付し、回覧をお願いしました。 高校や大学には、にじいろ相談やにじいろスペースの事業を周知するためのチラシを送付しています。